



茨城ワイズメンズクラブ  
2021年度-2022年度  
5月報 Vo 1.165

強調月間テーマ

EF・JEF

THE Y'S MEN'S CLUB OF  
IBARAKI  
CHARTERED 2006



国際会長主題.....「世界とともにワイズメン」  
アジア太平洋地域会長主題.....「100年を越えて変革しよう」  
東日本区理事主題....「私たちは次の世代のために何が出来るか？」  
関東東部部長方針「地域に世界に広げよう青少年を支えるワイズの輪・和・ワ」  
茨城ワイズ会長主題.....「もう一度みんなで集う場所をつくろう」

<5月例会プログラム>

と き:2022年5月6日(金)  
19:00~21:00(予定)  
と ころ:筑波学園教会教育会館1F  
zoomによるオンライン開催

司 会:熊谷 光彦  
開会挨拶と点鐘:熊谷 光彦  
ワイズソング:「いざ立て心熱くし」  
(オンライン時はスキップ)

ワイズ信条:  
(オンライン時はスキップ)

- 1、自分を愛するように  
隣人(りんじん)を愛そう
- 1、青少年のためにYMCAに尽くそう
- 1、世界的視野をもって  
国際親善をはかろう
- 1、義務を果たしてこそ  
権利が生ずることをさとろう
- 1、会合には出席第一  
社会には奉仕第一を旨としよう

今月の聖句・祈祷:熊谷 光彦  
協議:リアル例会計画、その他  
ハッピーバースデー&

おめでとう結婚記念日:

スマイル:

茨城YMCA報告:和田 賢一  
閉会挨拶と点鐘:熊谷 光彦

「みどりのセンター本館 1年の歩み」

連絡主事 和田 賢一

取得してからの1年、施設整備に全力で取り組みました。昨年5月GWのワークキャンプから始まり、芝生ひろば整備、あそびの森の手入れ、建物内の清掃など、たくさんのご協力をいただきながら、地域の方々や子どもたちが利用できる施設にしてきました。現在も整備は継続していて、学生ボランティアたちが、11月にはピッツァ用かまどを、2月には古タイヤの遊具を作ってくれました。

また広大な施設を利用して、コロナ禍で実施が困難だった様々な活動を行えました。2020年に中止となったインター



☆今月の聖句☆

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです。

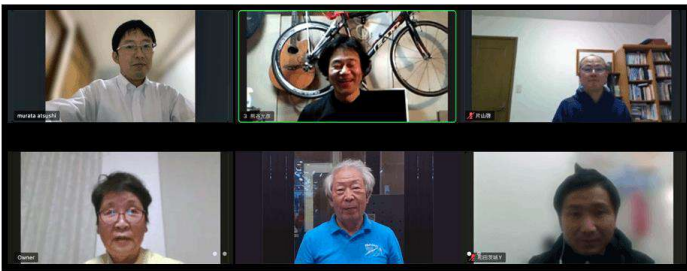
コリントの信徒への手紙(2)4章18節

ナショナル・チャリティーランは、32の企業団体と200名以上の善意の皆さまからご協力をいただき、実施できました。その他、学生ボランティアを対象とした、火起こし・キャンプファイヤー・レクリエーション指導など豊かな実技トレーニングを実施でき、今年度開催したキャンプでもトレーニングの成果を発揮して安全なキャンプを行うことができました。

2022年度が始まり、児童クラブ・相談支援室が開設いたしました。地域にとって必要とされる場所となるように、これからの歩みを進めてまいります。どうぞご支援ご協力をお願いいたします。

## 【4月例会報告】

4月例会は、8日（金）にzoomにてリモート開催いたしました。



今回は、茨城クラブの書記である村田ワイズの自己紹介、お仕事紹介をメインに歓談となりました。

以下、要約します。

- ・1982年大阪市生まれ、現在は妻と息子（小2）と川崎市在住。
- ・2001年に筑波大学進学、大阪を離れてつくば市での生活を始めました。学部の先輩に誘われて茨城YMCAのボランティアリーダーの活動に参加しました。个性的かつ魅力的なリーダーそしてメンバーとの出会い、ディレクター（当時の茨城YMCAはスタッフ4名のごく小所帯でした）やメンバーの保護者のみなさんとの交流により、「世の中には素敵な人がたくさんいるのだ」ということに触れた4年間でした。いままも総主事を務め



ておられる宮田ワイズが茨城YMCAに初めて赴任されたのは2003年のことでした。

- ・2005年に大阪で社会人生活をスタートしました。2007年からは関東（東京）に戻り、2014年ごろから仕事で頻繁につくばを訪れるようになりました。2015年6月に宮田ワイズの誘いによりワイズ入会、その後も川崎市に住みながら、仕事の都合などをつけて茨城のメンバーとして活動を続けています。
- ・仕事は、銀行2行を経て、現在は事業再生にかかわるコンサルティングや投資を手掛ける会社にて、地方銀行や信用金庫の融資先の再生のお手伝いをしております。東京-名古屋-大阪を行き来することの多い仕事です。これからは、Covid-19により傷付いたホテル・旅館の再生に注力して、観光産業を日本のエンジンとして育てられるように尽力していきたいと考えております。

- ・現在の勤務先企業グループでは、ホテル事業、マンスリーマンション事業も展開しており、ウクライナ避難民の受け入れにも取り組んでおります。以前銀行で勤めていた頃は、正直なところ、「こっそりとワイズの活動もしている」という状態だったのですが、いまの勤務先の代表は、社会貢献にも大きく携わっており、ありがたいことに私のワイズ活動にも理解を示してもらっております。

プレゼンテーションを通じて、あらためてワイズのみなさまに自分のことを知っていただくことができました。質疑応答も活発に交わすこととなりました。

### 4月例会（リモート開催）出席状況

会員：6名（片山、熊谷、村田、柳瀬、宮田、和田）、スタッフ：0名、リーダー：0名、ゲスト：0名、出席総数：6名、在籍者会員数：8名、会員出席率：75%

（書記 村田）

## 【事務報告】

### 会計報告（4月8日～5月5日）

前月繰越金..... ¥25,815-  
次月へ繰越..... ¥25,815-

ワイズメンのみなさまにおかれましては引き続き会費の前納に、ご協力を賜りたく願います。

（会計 柳瀬）



## 【茨城 YMCA 報告】

## 4 月の報告

## 4 月の予定

- 1 日 学童新入生歓迎会
- 2 日 入園式 つくばオーリーブ・幼保園
- 4 日 学生ボランティア研修会
- 5 日 スプリングスクール終了
- 9 日 フードパントリー
- 11 日 早天祈祷会
- 16 日 理事会
- 16 日 みどりのセンター本館ワークキャンプ
- 17 日 かすみがうらマラソン給水ボランティア
- 18 日 主任会
- 20 日 学童支援員全体研修
- 23 日 ボランティアリーダー新歓イベント
- 26 日 職員礼拝職員会
- 27 日 学童支援員 2 年未満研修
- 30 日 障がい児者自立支援「たんぽぽクラブ」

## 5 月の予定

- 9 日 早天祈祷会
- 11 日 学童支援員 2 年未満研修
- 14 日 茨城 YMCA 定期総会
- 14 日 小学生デイキャンプクラブ「つくわいクラブ」
- 18 日 取手幼稚園課外クラス体験会
- 19 日 牛久オーリーブ健康診断
- 20 日 幼保園・つくばオーリーブ引き取り訓練
- 21 日 4-5 歳児デイキャンプクラブ「わんぱくクラブ」
- 24 日 二葉こども園プール指導
- 25 日 学童支援員 2 年未満研修
- 28 日-29 日  
障がい児者自立支援「たんぽぽクラブ」  
お泊り会
- 31 日 二葉こども園プール指導  
(連絡主事 和田)

## 【編集後記】

普段はあまり表に登場しない書記ですが、今回は例会の卓話を通じて自分のこととお話させていただきました。

世の中、SNS 時代です。少しでも自己表現しようものならば、手ぐすね引いて待ち構えている人の格好の獲物になり、炎上させられる時代で、私の若い頃（20 年前）ともずいぶんと時代は変わってきました。わたしがもし 2000 年代の生まれで、当時のように無鉄砲に振る舞っていたら、すぐに世の中に消費されていたかもしれません。今もそうなのですが、ワイズの活動のなかでは、本名をドンピシャで特定されないために（Web 上での検索ですぐに引っかけられないように）わたしは名前をひらがな表記にしています。

ワイズの、特にシニア世代の方々には、いまの世の中、そこへの情報発信のあり方などはどう見えていますでしょうか？ 世の中への表現の仕方なども、時代の変化に合わせてカスタマイズしていくことがワイズでも求められているのかもしれないかもしれません。

(書記 村田)

昨年 3 月、「2019 年に実行委員会解散し終了した霞ヶ浦一周サイクリング大会を復活させたい」との共通の思いを持った 4、5 人が、とある自転車店のバックヤードに集まりました。その 4、5 人が休みを返上して手弁当で、こつこつ準備して昨年 6 月、新しい霞ヶ浦一周サイクリング大会を開催しました。大会名は「K1 (ケイワン)」、Kasumigaura の頭文字「K」と一周の「1」から名付けました。

そして今年も昨年と同じ頃、昨年と同じメンバーが集まって、「一回限りで終わらせられない」との決意から第 2 回の準備をはじめました。やるなら「前回よりもよかった」って言ってもらえるイベントにしなくちゃ・・・ってことで、2022 年 6 月 5 日(日)、第 2 回 K1 が開催されます。

(会長 熊谷)